



佐土原ロータリークラブ週報



会 長：佐藤 高元 **幹 事**：太田 忍
副 会 長：梶田與之助 **会報委員長**：林 厚雄
会 計：村岡 博
事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 携帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

12月27日プログラム予定・・・年度末懇親会
 1月02日プログラム予定・・・特別休会

第957回 平成18年12月20日(水)

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
 - 2. ロータリーソング
「我らの生業」
 - 3. 会長の時間
 - 4. 幹事報告
 - 5. 会員卓話
 - 6. 点 鐘

当初はガバナーが主催する地区の行事でしたから、その費用はRIから支払われていましたが1969年のRI理事会は経済的理由からその費用を支払わない事を決めました。それ以降は、IMを実施するか否かはガバナーの裁量に委ねることになりました。その時点で、世界中のほとんどの地区ではIMを中止しましたが、日本ではガバナーが分区代理に依頼する形でIMを続行しました。

しかし、RIもこの種のフォーラムの必要性を考えて一時期「1日情報研究会」を推奨しましたが短期間で立ち消えになってしまいました。その後、手続き要覧には1995年版までは分区代理がIMを主催するという表現が残っていましたがこれはあくまでガバナーの判断で開催してもかまわないという意味です。

1997年から地区リーダーシップDLPの採用によって1998年度版手続き要覧から都市連合会と分区代理の文字が消えて事を受けて、IMに関する記載は抹消されて現在に至っています。IMという言葉は色々な意味に使用されています。かつて、ポールハリスがイギリスを訪問した時地元クラブが開催した歓迎会のことをIMと表現したこともあるそうです。

とにかく近隣クラブが共通のテーマを語り合い、知己の輪を広げる意義は大きく、殆どのIMはフォーラムと懇談会がセットになったIGF形式が取られています。必ずしもこだわる必要はなくセミナーの形式が取られることもよくあります。「ロータリーの源流より」(裏に続く)

《ロータリー情報より・・・IMとは》
 近隣都市数クラブが集まって親睦・情報教育その他の目的で行われている数種のロータリー会合を総称する用語

第956回の記録 平成18年12月13日
 ★ 会長の時間 佐藤 高元君
 みなさん今日は、後半の大きな行事として、インターシティ・ミーティング(IM)が残っています。2730地区、宮崎中部分区では、平成19年2月18日(日)ワールドコンベンションセンターで開かれます。大会を成功させるためにも、この際IMについての情報を提供しあいながらお互いの理解を深めて行きたいと思えます。
 インターシティミーティングについて「1950年版の手続き要覧にはグループ毎に、分区代理が主催して都市連合会IMを開かなければならぬ事が明記されています。さらに古い1926年版手続き要覧にはIMに関する記載はありませんのでいつからこの制度ができたのかは不明です。初期のIMは、もっぱらフォーラム形式が取られていたためICGF(Inter-City General Forum)都市連合会フォーラムと呼ばれていましたが、後にIGF(Intercity General Forum)と名称が変更され、分区単位で行う勉強と親睦を深める会合として定着していました。

IMと・ホストクラブ

- ★ これまでの経緯からするとIMはガバナーが主催する地区の行事であり、実施するか否かはガバナーによって決定されるものとなっています。したがってIMを開催するか否か、誰が主催するかはガバナーの自由裁量件の下にあります。
- ★ 地区リーダーシッププラン(DLP)を2002年7月に全ての地区が採択することになりガバナーはガバナー補佐を任命してその責務の一部を委任することになりました。
- ★ これまで、ガバナー補佐の所属するクラブがホストクラブの役目を果たしてきました
- ★ 次年度(2007~2008)のIMについては、佐土原ロータリークラブがホストクラブをつとめることとなります。

IMは、ロータリーの地区活動として定着し、毎年素晴らしい内容で構成されてきました。グループ内の情報交換と親睦を深める数少ない機会として今後、ますます継続・発展させるように努力すべきだと思います。

★ 幹事報告 太田 忍 君

※宮崎西ロータリークラブより
来る平成19年1月5日(金)の当クラブの例会は、年始の為 特別休会としますのでお知らせします。 幹事 西岡 昌志

ロータリーの友にご投稿ください

『ロータリーの友』では、会員の皆さまのご投稿をお待ちしております。クラブや地区での活動、ロータリアン同士の交流に関する原稿や写真、ロータリーに対するご意見など、下記をご参照の上、ロータリーの友事務所までお送りください。なお、下記とは別に、特集用の原稿を募集させていただくこともあります。時折、当ウェブサイトの「ロータリーの友からのお知らせ」をチェックしてください。

なお、活動の原稿や写真は、できるだけ早くお送りください。時間が経過すると掲載できないことがあります。

「卓話の泉」

- 『クラブ週報』『クラブ会報』に掲載されている卓話の中から、客観的内容のもの、ミニ知識となるものを選び、要約して掲載。卓話の掲載された週報をお送りください。

「ロータリー俳壇・歌壇・柳壇」

- 1か月に1人はがき1枚に3句(首)まで。

「言いたい 聞きたい」

- 「ロータリー」ならびに『ロータリーの友』について感じたこと、建設的な意見、疑問・質問、問題提起など。また、本欄に掲載の意見・質問に対する、回答・意見など。・800字以内。

「友愛の広場」

- エッセー、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。・1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

「ロータリー・アット・ワーク」

(写真編)

- ロータリークラブ、インターアクト・ロータリーアクトなどの奉仕活動をカラー写真で紹介。
- 写真と150字程度の説明文。記念写真(集合写真)は、掲載できません。
- 必ず、活動日を入れてください。

(文章編)

- ロータリークラブならびに地区の活動を紹介。
- 600字以内。関連写真があれば添付してください。

「私の宝物」

- 家族、ペット、思い出の品、コレクションなどの宝物を写真で紹介。
- 写真と50~100字の説明文。

「私の一字」

- ロータリアンの好きな言葉を肉筆で書いてもらい紹介。
- 筆、万年筆、サインペン、その他、お好きな用具を使い、好きな文字を1文字書いてください。
- その文字を選んだ理由、好きな理由を50~100字で書いてください。

「内外よろず案内」

- 国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内など。・200字以内。

- ★ 送り先 : ロータリーの友事務所
- ★ 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階 FAX 03-3436-5956
- ★ Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

~ MEMO ~

.....
.....
.....
.....
.....

出席状況 第953回 平成18年11月22日

会員数	30名	欠席者数	5名
出席者数	25名	メイクアップ	2名
出席率	83.0%	修正出席率	90.0%

言動はこれに照らしてから

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか